

(対象期間:2018/3/12~3/16)

[株式市場]ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日~2018年3月16日)



[株式市場]

週初は買い戻しが見られたものの、ルピア安への懸念などを背景に、外国人投資家を中心に利益確定売りが継続し、その後は軟調な展開となったことから、インドネシア株式市場は下落しました。セクター別ではインフラ・公益・運輸、鉱業などを中心に全てのセクターが下落しました。

2018/3/9	2018/3/16	変化率
6,433.32	6,304.95	-2.00%

[債券市場]インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2018年3月16日)

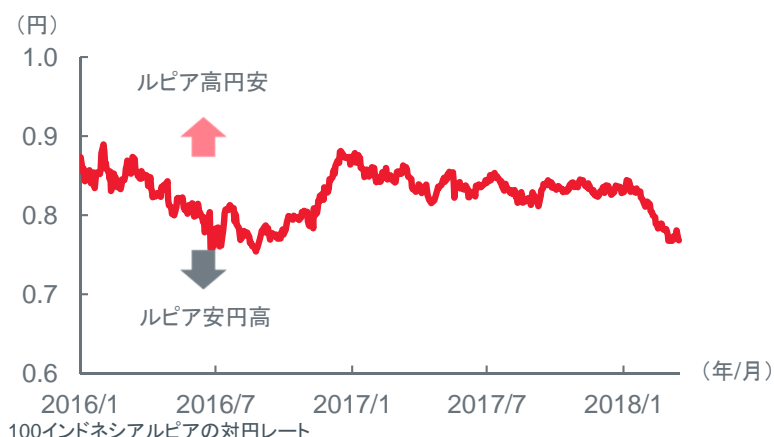


[債券市場]

米国の10年国債利回りが低下傾向となる中で、インドネシアの債券市場でも買い戻しの動きが見られました。火曜日に行われたインドネシアの国債入札が堅調な内容となったことも相場の下支えとなり、インドネシア債券利回りは低下(価格は上昇)しました。

2018/3/9	2018/3/16	変化幅
6.826	6.732	-0.094

[為替市場]インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日~2018年3月16日)



[為替市場]

火曜日のインドネシア国債入札が堅調な内容となったことやインドネシア中央銀行(BI)幹部による為替介入を継続する発言などが相場の下支えとなり、ルピアは対米ドルで小幅に上昇しました。一方で対米ドルで円高が進行したことから、対円では小幅な下落となりました。

2018/3/9	2018/3/16	変化率
0.773	0.768	-0.65%

出所: グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。